

第百八十七号議案

職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

右の議案を提出する。

令和六年九月十八日

提 出 者 東京都知事 小 池 百 合 子

職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

職員の退職手当に関する条例（昭和三十一年東京都条例第六十五号）の一部を次のように改正する。

第十八条第一項第一号及び第五項第二号、第十九条の見出し、同条第一項第一号、第二十条第一項第一号並びに第二十二條第四項中「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、令和七年六月一日から施行する。

（経過措置）

2 刑法等の一部を改正する法律（令和四年法律第六十七号）及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律（令和四年法律第六十八号）並びにこの条例の施行前に犯した禁錮以上の刑（死刑を除く。）が定められている罪につき起訴をされた者は、この条例による改正後の職員の退職手当に関する条例第十八条第一項及び第五項、第十九条第一項（第一号に係る部分に限る。）並びに第二十二條第三項及び第四項の規定の適用については、拘禁刑が定められている罪につき起訴をされた者とみなす。

（提案理由）

第百八十七号議案 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

刑法等の一部を改正する法律（令和四年法律第六十七号）の施行に伴い、規定を整備する必要がある。